

# 1 年 4 組美術科学習指導案

日 時 : 平成 24 年 11 月 14 日 (火) 5 校時

場 所 : 安来市立第一中学校 美術室

指導者 : 教諭 仲西 貴志

## 1 題材名

「パブロ・ピカソに挑戦 ～さまざまな材料や技法を使って～」(全 7 時間)

「A 表現 (1) (3)」 「B 鑑賞」

## 2 題材の目標

パブロ・ピカソの作品を鑑賞し造形的なよさや美しさに関心を持ち、形や色の組み合わせや、様々な材料や技法を工夫して、表情豊かな顔を表すことができることを知り、自分で表現してみる。

## 3 題材設定の理由

### (1) 題材について

本題材は、「パブロ・ピカソ」の作品から表現の工夫や意図を見つけ、感じ取ることによって、造形的なよさや美しさを味わい楽しく表現する、鑑賞と表現の一体化を目指した授業である。

生徒たちに「20 世紀を代表する芸術家をあげなさい。」と質問すると、ほとんどの生徒がピカソという名前をあげる。20 世紀を代表するパブロ・ピカソは、生涯に莫大な数の作品を制作した。また、絵画作品だけでなく、彫刻、工芸などその時代時代でさまざまなスタイルの作品を生み出した。しかし、生徒たちのピカソの印象として、「よくわからない作品を作っている。」 「なんでピカソの作品がよいのか分らない。」といった感想を聞くことが多い。そこで、対話による鑑賞を取り入れることで、ピカソの色や形についての工夫点や創造性に気付かせたい。対話による鑑賞の活動は、生徒たちに作品の細部まで良く見て、互いの意見を聞きあい、自分の考えを深めていく活動になると考える。また、中学 1 年生という時期は、客観的に物事を捉え、表現しようとする意欲が高まる時期といえる。その反面、客観的な表現ができにくい生徒にとっては美術に苦手意識を持ち、表現する楽しみまで失ってしまうことになる。そこで、小学校で取り組んできた造形的要素を持つ遊びを取り入れることによって表現の楽しみを味わい、自分で工夫して表現する態度を育成していきたい。

### (2) <生徒観は個人情報のため省略>

### (3) 指導にあたって

1 年生のオリエンテーションでは、「モナ・リザ」の作品について感じたこと、気がついたことなどを発表しながら美術の授業で大切にしてほしいことについて説明を行っている。また、2 学期に行われた遠足では、県立美術館を訪問するため、美術館でのマナーだけでなく、作品を楽しく見るポイントなどを指導した。その結果美術館では熱心に作品を見ている生徒も多かった。そこで、今回は対話による鑑賞を取り入れてお互いの意見を聞きながらより深く作品を見る活動を行いたいと考えた。そのため、プロジェクターの前で座り込んで全員がモニターを良く見えるように工夫するとともに、発言できなかった生徒の意見や考えを理解するためのワークシートを準備したい。

造形的要素を持つ遊びの表現活動では、1学期に学習したポスターカラーでの色彩表現を復習し、色と形の美しさについて追及させたい。また、段ボールやボール紙、画用紙などさまざまな材料を準備し工夫しながら、幅広い表現方法を身につけるようにしたい。作品としての表現を深める手立てとして、色鉛筆や、ペンなどで加筆し完成度の高い作品になるよう授業を進めて行きたい。そうした指導で、表現することの楽しさを感じ取り、自分の思いや考えを積極的に表現する生徒を育成していきたい。

#### 4 題材の評価規準及び学習活動に即した評価規準

##### (1) 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
・パブロ・ピカソの作品から造形的なよさや美しさに関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり、表現の工夫などを感じ取ったりしようとしている。	・パブロ・ピカソの作品から感じ取ったことや、色や形から主題を生み出し、創造的な構成を工夫し、構想を練っている。	・表したい顔のイメージを持ちながら、段ボールや絵具など材料の特性を生かし、創意工夫して表現している。	・パブロ・ピカソの作品の造形的なよさや美しさ、顔をもとにした主題と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えを持って味わっている。

##### (2) 学習活動に即した評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
<b>【関①】</b> 作品を鑑賞しながら造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、主体的に感じ取ろうとしている。 <b>【関②】</b> ピカソの作品鑑賞で感じたことを想起しながら主体的に構成を工夫して構想を練ろうとしている。 <b>【関③】</b> 形や色彩などの表し方、材料や用具の生かし方などを主体的に工夫して表現しようとしている	<b>【発①】</b> 主題などを基に、全体と部分との関係を考え、形や色彩の効果を生かして創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構成を練っている。 <b>【発②】</b> 作り出した形を効果的に組み合わせた構成を表現している。	<b>【創①】</b> 形や色彩などの表し方を身に付け、表したいイメージを持ちながら意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 <b>【創②】</b> 材料や用具の特性などを考えながら、見通しを持って表現している。	<b>【鑑①】</b> ピカソの造形的なよさや美しさ、対象のイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫、主題と表現材料の選択や材料の生かし方を感じ取り、自分の思いや考えを持って味わっている。 <b>【鑑②】</b> 友達の意見や作品のよさに気づき、味わっている。

## 5 題材の指導計画と評価計画

時	●学習のねらい・学習活動	学習活動に即した評価規準				評価方法、留意点等
		美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力	
1時間 (1次)	<p>●対話による鑑賞を通して、ピカソの作品を鑑賞し、よさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取ろうとする。</p> <p>・プロジェクターで写したピカソの作品をよく見る。</p> <p>・作品から感じたことや発見したこと、考えたことなどを発表する。</p> <p>・鑑賞カードに記入しまとめをする。</p>	○			○	<p>【関①】 (鑑賞の様子)</p> <p>【鑑①】 (ワークシート、発言内容)</p>
3時間 (2次)	<p>●さまざまな材料や技法を使い、形や色彩の組み合わせを工夫する。</p> <p>・紙や段ボールなどをいろいろな形に切る。</p> <p>・切った形に、色の効果を意識しながらポスターカラーを使って着彩する。</p> <p>・さまざまな紙を張り付けるコラージュも行う。</p>	○		○		<p>【関②】 (授業の様子)</p> <p>【創①】 (授業の様子、作品)</p>
2時間 (3次) 本時 (1/2)	<p>●主題を決め、さまざまな形や色を効果的に組み合わせ、創造的な構成を工夫する。</p> <p>・自分の表現する主題を決定する。</p> <p>・さまざまな形や色のパーツを自分の主題に合うように組み合わせる。</p> <p>●表現を深める</p> <p>・組み合わせた作品に、いろいろな描画材で加筆したり、新たな材料をつけたりして完成させる。</p>	○	○		○	<p>【関③】 (授業の様子)</p> <p>【発②】 (ワークシート、授業の様子)</p> <p>【創②】 (授業の様子、作品の部分)</p>



(3) 本時の評価

生徒の姿 評価の観点	十分満足と判断される 生徒の姿の具体例	おおむね満足と判断される 生徒の姿の具体例	支援を必要とすると判断される生徒への手だて
美術への関心・意欲・態度	色彩や形の効果を考え、自分のテーマに合った表現に近づけるために何度も試行錯誤しながら、用具の生かし方などを主体的に工夫して表現しようとしている	形や色彩などの表し方、材料や用具の生かし方などを主体的に工夫して表現しようとしている	・ 主題を提示し、その中から選択して構想を練るように促す。
発想や構想の能力	・ 自分の表現意図を深く考え、作り出した形を効果的に組み合わせ、より主題にせまることができるよう画面を構成している。	・ 作り出した形を試行錯誤しながら、効果的に組み合わせている。	・ ピカソの作品鑑賞を参考にしたり、グループの生徒の作品を参考にしたりするよう促す。